ヘッポコ釣行記

阪上克利

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヘッポコ釣行記

【Nコード】

N3959Y

【作者名】

阪上克利

【あらすじ】

釣りの魅力や、今まで行った釣行のおもしろ話、また『釣り』というスポーツについての個人的な意見をまとめてみました。ちよつと偏っている意見かもしれませんが、こんな考えもあるのか・・・と思いつながら読んでいただけると幸いです。

フナに始まり・・・。

1、フナに始まり・・・。

よく釣りはフナに始まりフナに終わると言われるが、実際はフナ釣りから釣りを始める人はどれくらいいるのだろうか。かく言うボクもフナから釣りを始めたわけではない。

最初に釣りを始めたのは小学校の頃。

親父に連れられて行った堤防がはじめてだった。

だからボク自身も釣りに初めて触れたのは海釣りであって、フナではなかった。

そもそも『フナに始まりフナに終わる』という言われ方をしたのはなぜだろう。

今になってそんなことをフナ釣りをしながら考えることが多い。

フナという魚は泥臭く基本的には食べれる魚ではない。

ただ、日本全国の池や川、湖に生息し、多少の水質の悪さなどは意に介さない強さがある。そしてフナ釣りは意外にも簡単なようであるが深いのだ。

フナの種類は大きく分けて2種類。

いやホントはもっとといるのだが、ボクが知っているのが2種類なので大きく分けて2種類ということにしておこう。

1つはマブナというやつで、オーソドックスな普通のフナ。

もう1つはヘラブナ。

このヘラブナこそ釣り師の間では絶大な人気を誇る魚である。

マブナは比較的簡単に釣れる。

魚信も浮きがすーっと入っていくのはつきりした魚信である。ぶっこみ釣りをするとリールのラインがびーびーと出て行くので釣り人の興奮を誘う。

その引きもなかなかのファイトを見せてくれる。彼らは最後まで抵抗をやめたりしない。

泥臭く、日本全国に生息するフナという魚にはそんなあきらめない強さを感じることがある。

そこを行くバスは引きたいしかなかった。

やつらは公魚などの魚を追い掛け回しては貪り食っているのに、釣れてしまうとたいして抵抗しないのである。そんなバスを見ると長いものに容易に巻かれてしまいういやらしさを感じてしまう。

ただ、これはあくまでボクの価値観なのでバス釣り愛好者には大変申し訳ないと思うのだが、それでもボクはバス釣りは邪道だと思う。

話がそれてしまったので元に戻すことにしよう。

マブナは比較的簡単に釣れるが、いろんな工夫の余地があり、釣りとしても奥の深さがあり簡単ではあるが面白い釣りである。

マブナ釣りは簡単で奥が深い、ヘラブナ釣りは難しく奥が深い。なんととってもヘラブナはエサを口に入れてもすぐに吐き出してしまうので、魚が一瞬しか出ない。そこに難しさがある。

うまい人になると浮きなどの道具にこだわる。もちろんそんな難しい釣りはボクはやらない・・・というよりできないのだが、その難しさこそ釣り師を魅了する。

マブナにしてもヘラブナにしてもエサや仕掛け、使用する竿などは多彩である。

ヘラブナは少しマニアックで難しいがマブナは簡単で子供でも釣ることのできる魚である。

だからこそ『フナに始まる』のだろう。

では、『フナに終わる』とはどういうことだろうか。

それはボク自身、まだ釣りを辞めようと思っていないので、わから

ない。

言葉の意味の半分は理解しているが、半分はまだ理解できずである。つまり釣りというスポーツはそれだけ奥が深く、人生に通じるものがあるということかもしれない。

ボクが『フナに始まりフナに終わる』という言葉を理解できたとき、もしかしたらボクの人生にも味のある深みというものが出てきているのかもしれない。

さて、『フナに始まる』ということでフナ釣りの話をしたが、フナを狙って釣りにいくことは中学の時にはよくあった。

浮き釣りで浮きが一ぱりと引き込まれる瞬間は淡水魚にははなかなかの興奮を与えてくれる。大体の淡水魚ははつきりした魚信はなく、浮きがモゾモゾしたりするので、そういう興奮は味わえない。

淡水魚の中でも最強に近いファイトを見せつけてくれる鯉でさえ、浮き釣りの際は、はつきりとした魚信がないのだ。

フナはそういう意味でも特異な魚であり、釣り人の心を魅了するものがあるのかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3959y/>

ヘッポコ釣行記

2011年11月10日12時58分発行